

3 市町村の姉妹・友好都市提携状況

令和6年12月現在、21市町が、世界の30地域と姉妹・友好盟約を結び様々な交流が行われているほか、語学指導等を行う外国青年の招致、青少年の海外派遣など活発な活動が行われている。

市町村	提携先	提携年月日	締結の契機
鹿児島市	ナポリ市 (イタリア)	S35. 5. 3	ナポリ湾に望むベスビオ火山を有するナポリ市と錦江湾に浮かぶ桜島を有する鹿児島市とは、風景が似通っており、鹿児島市は「東洋のナポリ」とも呼ばれていたことなどから姉妹都市盟約が締結された。
	パース市 (オーストラリア 西オーストラリア州)	S49. 4. 23	パース市が南緯32度に位置し「ひかりの街」と呼ばれるのに対し、北緯32度に位置し「太陽と緑の街」と呼ばれる鹿児島市はともに気候が温暖で、民間交流が盛り上がる中で姉妹都市盟約が締結された。
	長沙市 (中華人民共和国 湖南省)	S57. 10. 30	鹿児島市は中国大陸に近く、鑑真和上や遣唐使船など歴史的関係も深いことから、中国との交流を求める気運が高まり、昭和56年11月に市の各界代表が中国の各都市を訪問するなど、中国との友好を深めていった。こうした中、長沙市から友好都市盟約締結の申し入れがあり、先遣視察団が鹿児島市を訪れるなど交流が深まり、友好都市盟約が締結された。
	マイアミ市 (アメリカ合衆国 フロリダ州)	H 2. 11. 1	両都市はそれぞれ日米両国の南端に位置し海外への玄関として機能し、気候も温暖であるなど類似点が多いことから姉妹都市盟約が締結された。
阿久根市	台南市善化区 (台湾)	H30. 4. 27	阿久根ロータリークラブと台湾台南市善化区のロータリークラブとの交流を機縁とし、台南市善化区側から友好交流協定締結の話があり、平成29年、善化ロータリークラブ創立25周年記念式典時に「友好交流協定締結に向けての合意書」の取り交わしが行われ、平成30年に友好交流協定の締結に至った。
出水市	順天市 (韓国 全羅南道)	H24. 11. 13	出水市と韓国順天市は、平成15年に韓国順天市長が出水市長を表敬訪問したことをきっかけに交流が始まり、平成21年9月には「日本国出水市と韓国順天市におけるツル保護等のための友好交流に関する協定書」を締結した。また、平成22年10月には、「順天湾祭り」へ出水市長が招待され出席する等交流が継続されてきたが、今後、さらに幅広い交流を推進するため、姉妹都市盟約協定を締結するに至った。

市町村	提携先	提携年月日	締結の契機
出水市	ぶーりーちん 埔里鎮 (台湾南投県)	H29. 5. 31	以前から、埔里鎮にある国立暨南（キナン）国際大学付属高校と出水中央高校とで音楽を通じた交流がなされていたことから、平成28年7月、台北駐福岡経済文化弁事処長から、埔里鎮を紹介された。平成28年8月に出水市長が埔里鎮を表敬訪問し、平成29年2月には埔里鎮長等15人が出水市を訪問し、トップ会談を行い、姉妹都市盟約締結に向けての合意書にサインがなされた。平成29年5月出水市及び市議会関係者15人が埔里鎮を訪問し、5月31日に調印式を行った。
指宿市	ロックハンプトン市 (オーストラリア クイーンズランド州)	S55. 11. 21 H18. 8. 6 (指宿市合併 後再提携)	オーストラリア・クイーンズランド州知事が本市を訪れた際、指宿市の地勢、豊かな風土等が大変好感をよび、同州の観光圏域の中心で、しかも人口や行政規模等の類似しているロックハンプトン市を候補に挙げ、交流を働きかけたのが始まりであり、姉妹盟約が締結された。
西之表市	ヴィラ・ド・ビスポ市 (ポルトガル共和国)	H 5. 10. 1	鉄砲伝来450周年を契機に、ポルトガル共和国の特定市と姉妹盟約を結び交流を図ることの気運が市民に高まり、駐日ポルトガル大使館の協力を得て大航海時代を拓いたサグレス号ゆかりの地であるヴィラ・ド・ビスポ市との間で姉妹盟約の調印を行った。
薩摩川内市 (旧川内市)	常熟市 (中華人民共和国 江蘇省)	H 3. 7. 26 H17. 4. 15 薩摩川内市として再提携	地域の国際化と重要港湾川内港の高度利用を図るため、約850kmの近い距離にある中国上海市近郊の港湾都市・常熟市と昭和60年以来視察団やスポーツ交流団を相互派遣するなど友好交流が深まり、両市の相互発展を期して友好都市盟約が締結された。
(旧入来町)	まるとん 馬陸鎮 ※戩浜鎮(じんはん ちん)から名称変更 (H13) (中華人民共和国 上海市嘉定区)	H 7. 8. 20 H14. 8. 19 馬陸鎮と再提携 H17. 4. 14 薩摩川内市として再提携	旧入来町に立地している企業が、平成6年上海市戩浜鎮に合併会社を設立したことをきっかけとして相互交流が始まり、友好交流協議書の締結に至った。平成13年に戩浜鎮は馬陸鎮に吸収合併されたため、平成14年8月に馬陸鎮と友好交流樹立協議書の調印が行われた。
	ちやんにょんぐん 昌寧郡 (大韓民国 慶尚南道)	H24. 5. 16	平成11年の川内大綱引400年祭に、昌寧郡の親善訪問団が参加したのをきっかけに交流が始まり、以後民間レベルでの交流を継続してきたが、さらに幅広い交流を推進するため、友好都市盟約を締結した。

市町村	提携先	提携年月日	締結の契機
日置市	スバンジャヤ市 (マレーシア スランゴール州)	H24. 10. 29	旧吹上町において「からいも交流」をきっかけにマレーシアと交流が始まり、平成13年には吹上町マレーシア交流実行委員会が設立されるなど交流が続けられてきたが、平成22年に在日マレーシア大使が日置市を訪問し、友好都市提携を強く希望されたことなどから、友好都市協定を締結することになった。
	南原市 (大韓民国・全 羅南道)	H20. 11. 1 R 5. 8. 30 追加締結	日置市と南原市は薩摩焼発祥が縁で、旧東市来町時代の平成10年に開催した「薩摩焼400年祭」を契機に交流を深め、平成20年「文化交流友好関係協約」を締結した。 令和5年両市間において文化面のさらなる発展を目的に「陶磁文化発展のための友好協力交流協約」が締結された。
曾於市	里港郷 (台湾屏東県)	R 5. 5. 16	相互の地域振興や人材育成に向け、国際交流の促進に協力して取り組み、観光や教育等における相互交流の発展や農産物、海産物等の物流の促進について協力するため、国際交流推進覚書(MOU)を締結した。
霧島市			
(旧隼人町)	耀州区 ※耀県から名称変更(H14) (中華人民共和国 陝西省)	H 7. 10. 23	平成5年「緑の遣唐使」により桜の木を植林し、翌平成6年、開花に伴い招へいを受けたのを契機として交流が始まり、友好関係合意書の締結に至る。
(旧霧島町)	ソノラ市 (アメリカ合衆国 カリフォルニア州)	H12. 7. 24	中高生を同市へホームステイに派遣し、平成9年からは国際交流員を置くなど語学教育や国際交流に力を入れてきた。人口もほぼ同規模で自然国立公園を持つなどの共通点を有することから、同市との姉妹都市盟約が締結された。
	瀏陽市 (中華人民共和国 湖南省)	H19. 10. 19	平成16年に京セラの招待で北京の中日友好協会会長及び瀏陽市副市長らが旧国分市を訪問。その御礼状と共に招待状が届いたため旧国分市長らが瀏陽市を訪問、友好都市提携を視野に入れての交流を開始。相互訪問等を経て、霧島市長との間で「友好交流関係の構築に関する協議書」の調印がなされた。
いちき串木野市			
(旧串木野市)	サリナス市 (アメリカ合衆国 カリフォルニア州)	S54. 5. 27 H17. 4. 14 いちき串木野市 として再提携	昭和30～31年に旧串木野市の住民がサリナス市に農業移住者として渡航しており、これを契機に両市民の間での交流が深まり、姉妹都市盟約が締結された。

市町村	提携先	提携年月日	締結の契機
南さつま市 (旧加世田市)	宿遷市 (中華人民共和国 江蘇省)	H14. 10. 27 H16. 10. 16 南さつま市として再提携	平成8年に江蘇省と友好交流を行っている鹿児島県から友好交流の話があり、旧加世田市において「加世田市国際交流推進協議会」が組織され、相互訪問を開始。平成10年から中国の国際交流員を招致するなど、交流が深まり、友好都市盟約締結に至る。
	旗津区 (台湾高雄市)	R 5. 1. 31	砂像文化や自転車活用など共通点が多く、友好交流協力覚書を締結した。
奄美市 (旧名瀬市)	ナカドゥチェス市 (アメリカ合衆国 テキサス州)	H 7. 4. 26	奄美看護福祉専門学校とアメリカ合衆国テキサス州のステファン・F・オースチン大学の学校間姉妹盟約締結を契機に、同大学があるナカドゥチェス市から旧名瀬市と姉妹盟約を締結したい旨の申入れがあり、両市間の調印に至った。
南九州市 (旧川辺町)	ずんちやんぐん 淳昌郡 (大韓民国 全北特別自治道)	H15. 4. 15	旧川辺町教育委員会が青少年交流の相手先について鹿児島県に相談したところ、県が韓国全羅北道と交流を進めていること、当時の県の国際交流員が全羅北道淳昌郡の出身であったこと、淳昌郡の地形・気候・産業構造などが旧川辺町に類似していることなどから淳昌郡を推薦され、交流が行われるようになり、友好交流協定締結に至った。
伊佐市 (旧大口市)	なんへぐん 南海郡 (大韓民国 慶尚南道)	H 3. 10. 16 (H21. 5. 16) 伊佐市として 再提携	観光関連助成事業として、十曾青少年旅行村に夏の開村期間に咲く花をということで「ムクゲ」を植栽した。その後「ムクゲ」が韓国の国花であることから、国際化時代に向け韓国との交流を進めることとし、韓日議員連盟を通じて南海郡を紹介され、姉妹都市盟約が締結された。
	花蓮市 (台湾 花蓮県)	R 6. 1. 31	駐福岡台湾総領事館総領事の紹介で交流が始まる。コロナ禍のなかオンライン交流を重ね、令和5年11月、花蓮市長等の伊佐市来訪を経て、令和6年1月に伊佐市が花蓮市を訪問し、友好交流協定を締結して今後の両市の交流推進を確認した。

市町村	提携先	提携年月日	締結の契機
長島町	きるさんみよん 吉祥面 (大韓民国 仁川広域市江華郡)	H 6. 5. 30	韓国本土と江華大橋で結ばれた江華島中にある吉祥面、黒之瀬戸大橋で九州本土と結ばれた長島町。このように「橋を渡る町」という地理的に共通した要因をもつことをきっかけに相互交流が始まり、姉妹盟約が締結された。
南大隅町	庄行鎮 (中華人民共和国 上海市)	H20. 1. 22	平成15年に合併前の旧佐多町で民間レベルの交流が始まったのがきっかけとなり、平成20年1月に中国の現地で南大隅町長も出席して、産業・文化・教育などの幅広い分野で交流を進めることとし、友好都市交流の協定書の締結に至った。
徳之島町 天城町 伊仙町	ちよん ど ぐん 清道郡 (大韓民国 慶尚北道)	H15. 3. 14	徳之島、清道郡の闘牛大会を通して交流が始まり、平成14年全国闘牛サミットの開催が徳之島町に決定したことから、奄美群島交流事業の一環として「日韓闘牛文化交流の夕べ in 徳之島」を開催し、郡守をはじめオンヌリ芸術団を招待したことから、さらに交流が深まり、友好協定書の締結に至った。
和泊町	望牛トン鎮 (中華人民共和国 東莞市)	H 9. 8. 1	平成8年8月、中国広東省在住の和泊町出身実業家より、「国際交流によるまちづくりが和泊町の未来を開く。21世紀は中国の時代と言われるので、経済交流を中心とした交流を進める適地がある。」と東莞市望牛トン鎮の紹介を受けた。町議会や国際交流協会等と協議し、同年10月に第1回訪中団を派遣した。同年12月には中国側の訪問団を受入、友好交流関係樹立に合意した。平成9年3月に第2回訪中団を派遣し、同年8月に和泊町で調印式が行われた。
与論町	ミコノス市 (ギリシャ)	S59. 11. 14	与論町を世界の観光・行楽地作りをするために「海と観光の町同士として、国際親善を深めると共に町づくりの参考にするため」ギリシャ政府観光局と協議の末、姉妹盟約が締結された。
東串良町	九如郷 (台湾屏東県)	R 7. 5. 9	九如郷は台湾屏東県の一部で東串良町と同じく農業が盛んな地域であり、鹿児島市の九州台湾同郷会の紹介で九如郷から視察団を令和5年7月、令和6年11月に受入を行い、令和6年1月に鹿児島県と台湾屏東県の交流協定締結を契機に、産業・教育や自然を生かした観光面など幅広い分野での友好交流提携を強く希望されたことから友好交流協定の締結に至る。

※ 旧桜島町の米国カリフォルニア州リボン市との友好都市盟約(昭和61年締結)は、鹿児島市との合併(平成16年11月1日)を機に終了。

※ さつま町(旧宮之城町)と中華人民共和国浙江省安吉県との姉妹都市盟約(平成11年締結)は、

- 平成17年の合併・新町誕生後は姉妹都市関係の再締結は行われず、事実上の提携解消となった。
- ※ 南大隅町（旧根占町）とギニア共和国コヤ県は、平成2年に姉妹盟約を締結するも、交流実績がなく、平成20年度に事実上の提携解消となった。
 - ※ 南九州市（旧穎娃町）と中国杭州市西湖郷の友好協力盟約は、平成19年度の市町村合併に伴い解消した。
 - ※ 天城町とフィリピン共和国シライ市は、平成2年に姉妹都市盟約を締結するも、交流実績がなく、平成29年度に事実上の提携解消となった。